業陸班10－１

情報通信審議会　情報通信技術分科会
陸上無線通信委員会　業務用陸上無線システム作業班（第９回）
議事要旨（案）

１　日時
平成26年２月14日（金）　14:00～15:00

２　場所
中央合同庁舎第２号館８階　第１特別会議室

３　出席者（敬称略）
主　　任：三谷　政昭
構　　成　　員：安達　行法、荒川　智史、福島　勇(代理)、石川　恭輔、石塚　淳、大越　秀治、岡﨑　邦春、加藤　数衛、重野　誉敬、豊島　肇、鳥枝　浩彰、中川　永伸、成澤　昭彦、野村　一郎、前川　忠、宮崎　春男、柳内　洋一、山口　孝夫、山崎　潤、山崎　高日子

事務局（総務省）：竹内電波政策課長、星野周波数調整官、戸部第三計画係長、板村官、柳島重要無線室長、中野課長補佐、鈴木官

４　配付資料
業陸班9-1　業務用陸上無線システム作業班（第８回）議事要旨（案）
業陸班9-2　陸上無線通信委員会報告書(案)
業陸班9-3　陸上無線通信委員会報告書概要(案)

５　議事
(1)　前回の議事要旨の確認
事務局から業陸班9-1に基づき説明が行われた。

(2)　陸上無線通信委員会報告書(案)について
事務局から業陸班9-2及び業陸班9-3に基づき説明が行われた。なお、具体的な質疑等は以下のとおり。

山口構成員：業陸班9-2の４ページの図について、簡易無線が含まれていないデータであることを明記すべきである。

事務局：注として、追記する。

成澤構成員：業陸班9-2の12ページの表中の消防無線の使用期限の制定時期は、平成15年ではないか。

事務局：電波法関係審査基準における制定時期は平成15年であるが、簡易無線・消防無線ともに、周波数割当計画における制定時期とし、記載した。

成澤構成員：業陸班9-2の13ページの修正箇所の記載について、4値FSK方式は移動系の防災行政無線システムに導入されるものと認識してよいか。

事務局：移動系だけでなく、同報系における導入も考慮した記載にした。

荒川構成員：業陸班9-2の５ページの修正箇所部分について、ナロー化の開始時期と認証の使用期限は記載にあるもので正しいのか。

山崎(潤)構成員：記載にあるもので正しいと認識している。

事務局：確認する。

岡﨑構成員：業陸班9-2の10ページの記載のとおりで問題ないと考えるが、将来の更なる周波数有効利用も考慮する必要がある。また、周波数移行は、システムの変更の手間・コストの面から、ユーザーにとってはメリットがあまりないので、ユーザーの経済的負担を考慮する必要がある。

事務局：将来の周波数有効利用及びユーザーの経済的負担を考慮した記載にした。

宮崎構成員：目次のタイトルと、文中のタイトルが統一されていない箇所がある。

事務局：確認する。

(3)　その他

委員会報告書(案)について、構成員からの追加・修正等の意見は２月17日(月)までに提出することとなった。また、事務局より次回作業班の開催予定日等を周知した。

以上